慶應義塾グローバルリサーチ発展事業-KGRI

○活動実績

国際的研究成果をもった若手研究者・国際卓越先導プロジェクト創設人材の招聘

1）国際的研究成果をもった若手研究者の招聘（KGRI特任教員紹介ページ）

【2021～2023年度】

概要： 国際的に活躍する若手研究者を育成する制度を設け、国内外から優秀な若手研究者を招いています。2021年度から立ち上げた3年間のプロジェクト「2040独立自尊プロジェクト」の活動を支えるため、国際的研究成果をもった人材として特任教員を雇用しました。

実績：（英語）https://www.kgri.keio.ac.jp/en/project-assistant-professor/yr-index.html

（日本語）https://www.kgri.keio.ac.jp/en/project-assistant-professor/yr-index.html

2）国際卓越先導プロジェクト創設人材の招聘

【2023年度】

国際的に卓越した研究大学を目指し、国際卓越先導プロジェクト創設人材のとして2023年度より特任教授を任用し、文部科学省の補助金である「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」の申請準備において中心的役割を務め、同事業の採択を果たしました。

https://www.keio.ac.jp/ja/news/2023/12/26/27-155703/

（J-PEAKS事業の本学の取り組み全体像）

トップクラス研究者招聘

【～2022年度】

概要：2018 年5月1日から2023年3月31日まで、Cybersecurity 分野で高名なデイビッド・ファーバー博士(David Farber アメリカ国籍）を外国人研究者特別枠での招聘（雇用)。現在、KGRI の研究プロジェクトである、サイバー文明研究センターの共同センター長として、全学的な取り組みを進めています。

※デイビッド・ファーバー教授（慶應義塾大学教授 / Distinguished Professor）は、その50 年以上の研究活動を通じて、エレクトロニクス、プログラミング言語、分散コンピューターの分野の基盤を確立し、科学の振興に多大な貢献をもたらしました。このような輝かしい功績が、情報・コンピューティング&コミュニケーション分野の多くの科学者から認められ、称賛を集めた結果、名誉あるアメリカ科学

振興協会（世界最大級の学術団体、the American Association for the Advancement of Science〔AAAS〕）のフェローに就任しています。（2019年2月16日就任式）
https://www.keio.ac.jp/ja/news/2018/11/30/27-49903/

・実績（抜粋）：
英）
http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-1.html
http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-2.html
http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-3.html
http://www.kgri.keio.ac.jp/en/research-synergies/talk-4-4.html
日）
http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-1.html
http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-2.html
http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-3.html
http://www.kgri.keio.ac.jp/research-synergies/talk-4-4.html

アーカイブ式レクチャーシリーズ実施

【～2023年度】
・概要：本学の国際研究力および国際的プレゼンスの向上を目的に、先端分野で世界的に著名な研究者を招聘し講演頂き、その動画を後日WEB上で公開しています。これにより、講演会時にとどまらず、オンライン上においても広く国内外に発信しています。
KGRI Lecture Series ：世界トップクラスの大学・研究機関に籍を置く研究者のクロス・アポイントメントによる講演
KGRI Great Thinker Series ：世界的に顕著な功績のある研究者等を海外より招聘した講演
KGRI Virtual Seminar Series：国内外でオンライン開催をした講演

実績： KGRI Lecture Series
英） http://www.kgri.keio.ac.jp/en/lecture-series/index.html
日）http://www.kgri.keio.ac.jp/lecture-series/index.html

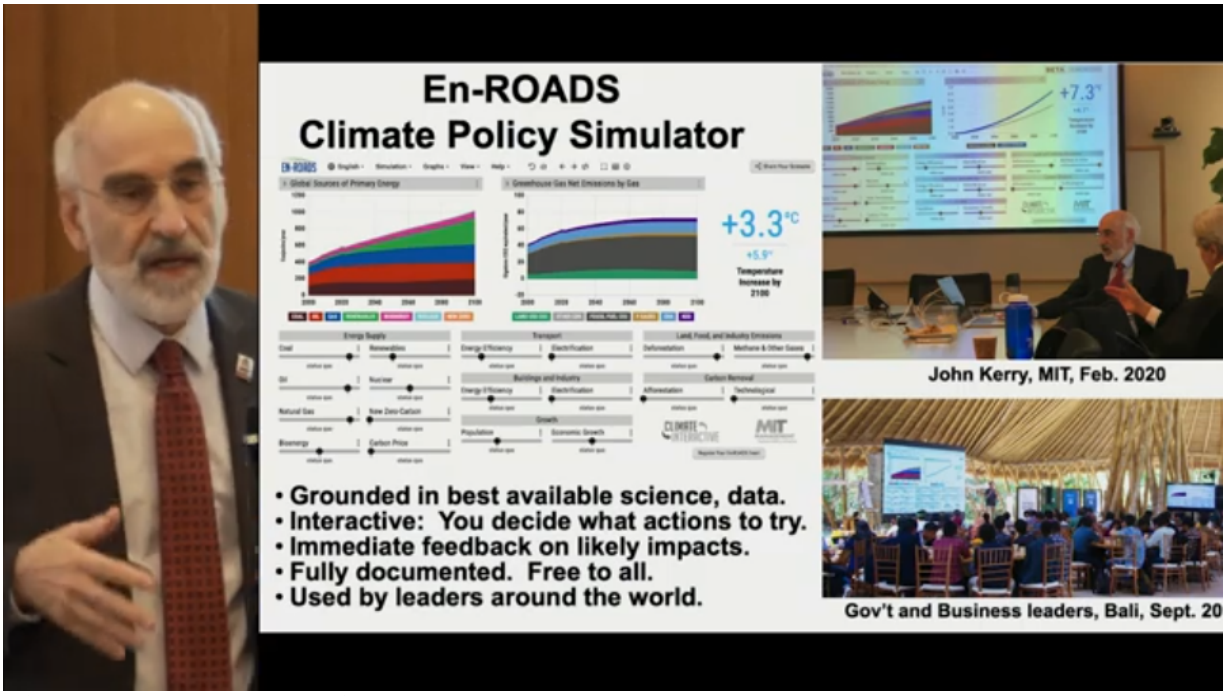
① KGRI Lecture Series: Seminar on ALS
日時：2023年5月30日（火）15:00-17:30 会場：信濃町キャンパス総合医科学研究棟1階ラウンジ
タイトル＆講演者：
1）”Mechanism of therapeutic action of ropinirole in spinal motor neurons derived from ALS patients”
森本悟（医学部教授）
2）”FMRP axonal retrograde transport is critical for its clearance and regulation of translational activity”
Marco Terenzio, Ph.D.（沖縄科学技術大学院大学准教授）
3）”Designer DNA drug therapy for neurodegenerative disease”
Don W. Cleveland, Ph.D.（カリフォルニア大学サンディエゴ校 細胞および分子医学の学科長/教授）

② "知的財産法講演会特許制度と特許庁 - その任務とインセンティブ "
日 時：2023 年10 月12 日（木）18:15-20:00
会 場：三田キャンパス 東館6 階G-Lab
講演者：Prof. Dr. jur. Christoph Ann, LL. M (TUM School of Management, Chair for Intellectual Property, Distinguished Guest Professor, Keio University [Global])

実績：KGRI Great Thinker Series

英） http://www.kgri.keio.ac.jp/en/great-thinker-series/index.html
日）http://www.kgri.keio.ac.jp/great-thinker-series/index.html

"The En-ROADS Climate Workshop "
講演者 ：John D. Sterman（Director of the MIT System Dynamics Group and the Sustainability Initiative at MIT Sloan School of Management, Cambridge, MA, USA）
日 時 ：2024 年1 月23 日（火）14:00-16:00
会 場 ：三田キャンパス東館8 階ホール



（John D. Sterman MIT教授）

実績：KGRI Virtual Seminar Series（オンデマンド開催）
英）https://www.kgri.keio.ac.jp/en/virtual-seminar-series/index.html
日）https://www.kgri.keio.ac.jp/virtual-seminar-series/index.html

① Data and Security as the U.S. and China Face Off
主催：ウォール・ストリート・ジャーナル
日時：2023年5月10日（水）18:30-19:30オンライン開催
モデレーター： ピーター・ランダース（ウォール・ストリート・ジャーナル東京 支局長）
パネリスト ： 牧島かれん（衆議院議員）、ジョッシュ・チン（ウォール・ストリート・ジャーナル中国支局副支局長）、國領二郎（総合政策学部教授）

（オンラインでのセミナー開催）

国際的に卓越した研究大学としての実績構築

【2023年度】

概要：

世界と伍する研究大学にむけて： 国際的に卓越した研究大学を目指し、国際研究、学際研究を戦略的に推進して、慶應義塾のサイテーションとレピュテーションの向上につなげます。

実績：

KGRIの新たなミッションとして、慶應義塾の全研究者の「研究内容と魅力」の把握と発信を行う「研究Showcase」の構築に着手しました。具体的には、全学部長・研究科委員長から推薦を受けた領域横断的、国際的研究推進の核となる研究者たちをHidden Jewelsとし、その研究内容を慶應義塾内外に動画で紹介するHidden Jewels企画を次の通り実施しました。

Hidden Jewels Session

第1 回 ）

日時：2 月 6 日（火） 16:00～18:00

会場：三田キャンパス東別館 9 階カンファレスルーム

研究発表： ヒトの脳を知りたいのに、マウスの脳を研究する意味は？
『脳の双方向トランスレーショナルリサーチ』
田中謙二教授 (医学部先端医科学研究所 脳科学研究部門)

サロントーク及び 質疑応答：
田中謙二教授 (医学部先端医科学研究所 脳科学研究部門)
山本龍彦教授 (KGRI 研究広報Lead、法務研究科、KGRI 副所長)
牛場潤一教授 (KGRI 研究広報Lead、理工学部生命情報学科)
大久保健晴教授 (KGRI 研究広報Lead 法学部政治学科)

（田中謙二　医学部教授と、KGRI研究広報Lead 3名によるサロントーク）

第2 回 ）

日時：2 月21 日（水） 10:00～12:00

会場：三田キャンパス東別館９階カンファレスルーム

（イベントポスター）

研究発表：　『なぜパレスチナ・イスラエルの衝突は終わらないのか――中東の紛争が長期化する背景を読み解く』

錦田愛子教授(法学部政治学科)

サロントーク 及び 質疑応答：

錦田愛子教授 (法学部政治学科)

山本龍彦教授 (KGRI 研究広報Lead、法務研究科、KGRI 副所長)

大久保健晴教授（KGRI 研究広報Lead 法学部政治学科）
研究発表：『政策現場で経済学は役に立つのか？競争政策分野における経済分析の活用状況』
久保研介准教授（商学部）
サロントーク及び 質疑応答：
久保研介准教授（商学部）
山本龍彦教授（KGRI 研究広報Lead、法務研究科、KGRI 副所長）
大久保健晴教授（KGRI 研究広報Lead 法学部政治学科）

（錦田愛子 法学部教授と、KGRI研究広報Lead 2名によるサロントーク）

<u>各種研究教育紹介情報発信、交流</u>

概要：
慶應義塾の研究者の研究成果を国際的に発信し、慶應義塾の世界を先導する研究者における認知度の向上と、国際研究連携の創出を目的に、国際的な論文データベースを活用した情報配信を行います。この度は、本学の研究を今後担うHidden Jewelsとして各学部・研究科から紹介を受けた研究者、人文・社会学領域を中心に、世界の研究者に向けて発信しました。
上記にて報告したHidden Jewelsの動画等を掲載し、KGRIの活動をより効果的に海外に発信するためにWebサイトコンテンツの充実を図ります。

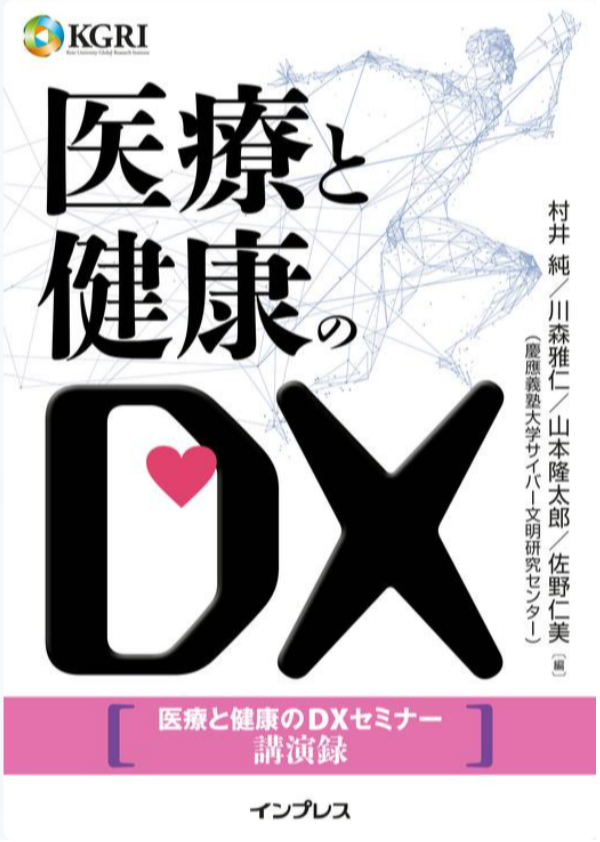
実績：
【2023年度】
1） Working Paper
概要：KGRI所員およびKGRI研究プロジェクトのメンバー等が、研究の成果を学術論文や書籍等による正式発表の前後に、Webサイトで公開することにより、研究所内外の研究者による利用、ディスカッションに供することを目的としています。そのため、査読前のもの査読中のものなど、様々なバージョンのものがあり、大学付属研究所ならではの自由な学術的議論への貢献を目指しています。
英）https://www.kgri.keio.ac.jp/en/working-paper/index.html
日）https://www.kgri.keio.ac.jp/working-paper/index.html

①タイトル：共同提言「健全な言論プラットフォームに向けて ver2.0―情報的健康を、実装へ」
著　者：　鳥海不二夫（東京大学大学院工学系研究科教授）
山本龍彦（大学院法務研究科教授/KGRI副所長）

②タイトル：「2040年に向けた健康寿命延伸のための行動変容デジタルプラットフォームの提案」
　著　者：　2040独立自尊プロジェクト，健康寿命延伸チーム
（ダイジェスト版とフルテキスト版がある。現在は日本語版のみで、英語版は後日公開予定。）

③タイトル：「Comparative Law Research on the Personal Data Protection Law in Various Countries」
　著　者：　編集代表 山本龍彦（大学院法務研究科教授/KGRI副所長）
　　編集 飯田匡一（大学院法務研究科 研究員、弁護士）
　　編集 佐藤太樹（大学院法学研究科 博士課程）

④タイトル：「医療と健康のDX」
共同編集者：村井純（慶應義塾大学教授・サイバー文明研究センター共同センター長）
　　川森雅仁（大学院政策・メディア研究科　特任教授）
　　山本隆太郎（SFC研究所　上席所員）
　　佐野仁美（大学院政策・メディア研究科研究員、サイバー文明研究センターメンバー）



⑤タイトル：「Comparative Law Research on the Personal Data Protection Law in Various Countries (Version 2.0)」※仮訳（後日完全版を公表）
　著　者：　編集代表 山本龍彦（大学院法務研究科教授/KGRI副所長）
　　編集 飯田匡一（大学院法務研究科 研究員、弁護士）
　　編集 佐藤太樹（大学院法学研究科 博士課程）

2）　研究成果発表会・研究者交流会
KGRIのミッションである、文理融合、学際的、領域横断的な研究を部門横断的に支援することを目的として、年に3回研究成果発表会・研究者交流会を開催しています。

・2022年度新規設置PJの活動に焦点をあて、PJ代表者6名による成果発表と質疑応答を行いました

日）https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/151510.html

日時：7月28日（金）17:00-20:00　於：三田キャンパス北館1階 ファカルティクラブ
＜第1部　研究成果発表会＞　研究成果発表６名：
細谷雄一（法学部教授）、駒村圭吾（法学部教授）、小熊祐子（スポーツ医学研究センター准教授）、ロドニー・バンミーター（環境情報学部教授）、満倉靖恵（理工学部 教授）、君嶋祐子（法学部教授）
＜第2部　研究者交流会＞
2023年度スタートアップ・プレスタートアップ採択者の紹介、歓談

・最終年を迎えた2040独立自尊PJの成果発表と質疑応答を行いました。
日）https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/160498.html

日付： 2023年11月 10日（金）　開催形式：オンサイト
研究成果発表会　：　18:30～20:05　三田北館ホール （北館1階）
研究者交流会　　：　20:10～21:10　三田北館会議室2（北館1階）
＜第1部　研究成果発表会＞
【2040独立自尊プロジェクト】　安井 正人2040独立自尊PJ統括責任者 （医学部 教授）
＜長寿＞健康寿命延伸プロジェクト：「健康長寿社会KGRIロールモデル」の確立
安井 正人医学部教授/PJリーダー、加藤 靖浩KGRI特任講師、
鳥谷 真佐子KGRI特任教授
＜安全＞プラットフォームと『2040年問題』：ネットワーク空間の新秩序形成
山本 龍彦法務研究科教授/KGRI副所長/PJリーダー
河嶋 春菜東北福祉大学准教授（前KGRI 特任准教授）
＜創造＞革新的ソフトマター統合プロジェクト
泰岡 顕治理工学部教授/PJリーダー、浅井 誠KGRI特任教授、
スマリ・ブライアンKGRI 特任講師

（2040独立自尊プロジェクトによる成果発表）

＜第2部　研究者交流会＞
2040独立自尊PJ成果発表者およびKGRIメンバーの方々とKGRIの現在と未来に関して歓談

・2023年度スタートアップ研究補助金受給者研究発表を北館ホールにて実施し、その後、研究者交流会の会場にてプレ・スタートアップ研究補助金受給者は、ファカルティクラブにてポスター発表を行いました。
日）https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/160528.html

日時：3 月 29日（金） 開催形式：オンサイト
研究成果発表 ： 16:30～17:40　　三田北館ホール （北館1階）
研究者交流会 ： 18:00～19:30　　三田ファカルティクラブ（北館1階）
＜第1部　研究成果発表会＞　研究成果発表 6 名：
研究成果発表（英語：10分研究発表　10分質疑応答）
南宮　湖（医学部　専任講師）
「学際的アプローチによるCOVID-19後遺症の実態把握と治療戦略創出」
林　安希子（商学部准教授）
「社会性と情動の学習 - 文化と身体的学習の側面から -」
森　将輝（環境情報学部専任講師）
「心理学的・数学的アプローチによる多様な格子錯視の解明と表現」
＜第2部　研究者交流会＞　2023年度スタートアップ・プレスタートアップ採択者の紹介、歓談
ポスターセッション（1名約2分間の研究紹介フラッシュトーク）
吉藤　歩（医学部専任講師）
「結核蔓延度から考える透析患者へのIGRA検査による潜在性結核診断・治療の意義」
上蓑　義典（医学部専任講師）
「ワクチン接種の最適な自己決定に貢献するPOCT型免疫予測システムの構築」
大澤　祐介（健康マネジメント研究科准教授）
「地域在住高齢者のフレイル・サルコペニアのサブタイプと経時的推移：日米伊の国際比較」
佐藤　千尋（KMD専任講師）
「文化芸術を日常に取り入れた社会福祉サービスの設計」
菅　さやか（文学部准教授）
「AIとの対話による問題解決場面における心理過程の解明」
前田　純宏（医学部専任講師）
「1分子の自律的な拡散運動による神経変性機構の解明」
西山　崇経（医学部専任講師）
「軟骨伝導補聴器格納式義耳の音響的安定性向上のための形状最適化研究」
長谷川　愛（理工学部准教授）
「フェムテック開発のための事前調査：業界の現状や問題点を把握し、盲点になっている領域を探る」
藤井　進也（環境情報学部准教授）
「ドラマージストニアの脳内機序解明」
板口　典弘（文学部准教授）
「認知症患者・失語症患者の言語における時間―意味ダイナミクスの解明」
（プレスタートアップ補助金受給者によるポスターセッション）

3)　「さきがけ」・「創発的研究支援事業」研究者 研究発表・交流会

JST 補助制度である「さきがけ」、「創発的支援事業」に採択されている義塾の研究者間の交流の機会の提供および研究者の連携促進を目的に、研究紹介および学術的交流会を開催しました。本イベント開催後、「さきがけ」「創発」研究者のコミュニティ創りを目的に、Slackを立ち上げました。

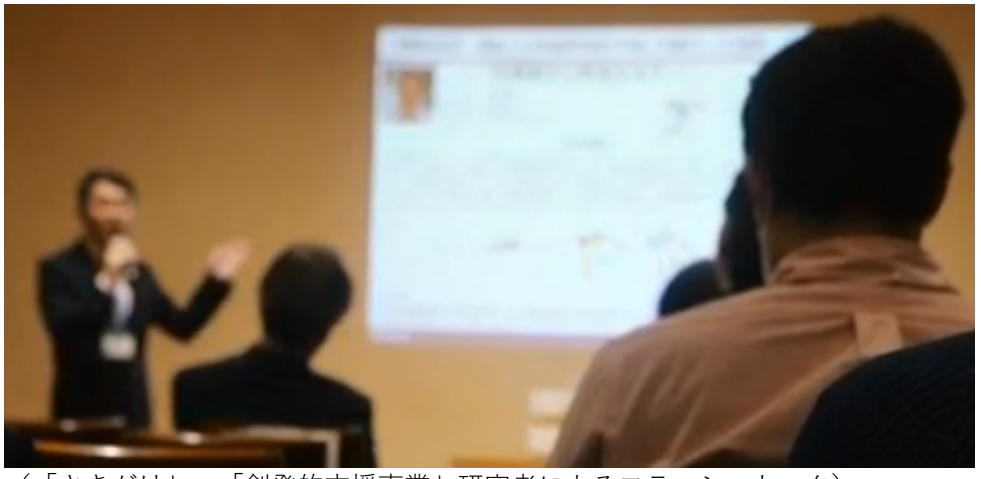
日時： 2024 年3 月 11 日（月）18：00～20：00 三田ファカルティクラブ（北館1階）
*JST が創発にて実施している採択者一人一人の研究紹介情報（研究内容・業績・略歴・目指すことなど）と同様のものを集め、KGRI ウェブサイト上で公開しました。
日）https://www.kgri.keio.ac.jp/research-showcase/emergence.html

＜第1 部 研究発表＞11 名（1 名2分間の研究紹介フラッシュトーク）
1.秋山 雅博（薬学部薬科学科 特任講師）
「化学修飾に立脚した環境曝露と腸内細菌の新たな関係」【創発】
2.筋野 智久（医学部内視鏡センター 専任講師）
「小腸難病疾患の 1 細胞レベル時空間的解析を利用した創薬シーズの探索」【創発】
3.田中 貴久（理工学部電気情報工学科 専任講師）
「ナノデバイスによるマルチモーダルガスセンシング」【さきがけ】
4.南宮 湖（医学部感染症学 専任講師）

「パンデミックに対してレジリエントな研究体制構築のための基盤研究」【さきがけ】
5.藤原 慶（理工学部生命情報学科 准教授）
「創る生物学により迫る生命の設計原理」【創発】
6.野村 周平（医学部医療政策・管理学 特任准教授）
「新しい保健システム構築のための実証的な疾病負荷研究」【さきがけ】
質疑応答
7.森本 桂子（医学部解剖学 助教）
「免疫の役者による脳発生及び機能解明」【創発】
8.安田 浩之（医学部内科学（呼吸器）准教授）
「非癌肺オルガノイドを用いた発癌プロセス本態解明と先制医療への応用」【創発】
9.山本 詠士（理工学部ＳＤ工学科 専任講師）
「非膜性構造体内部における分子挙動の階層統合的理解」【さきがけ】
10.湯澤 賢（政策・メディア研究科 特任講師）

「合成生物学的手法による抗生物質の自在合成基盤の確立」【創発】
11.林 香（医学部内科学（腎・内・代）教授）
「血球細胞DNA メチル化変化を標的とした新規腎臓病治療戦略の開発」【創発】

（伊藤塾長による冒頭挨拶）


（「さきがけ」、「創発的支援事業」研究者によるフラッシュトーク）

＜第2 部 交流会＞ 19:00～20:00

4) 世界のトップレベル研究者向けメール配信
Clarivate 社の論文配信サービスを利用し、Web of Science のデータベース中で慶應義塾に所属する研究者による論文で引用数の多いもの、特に2023 年度については、1）慶應がフューチャーしたい研究者（Hidden Jewels 被推薦者、さきがけ・創発的研究支援受給者、スタートアップ、プレ・スタートアップ採択者、2023 年11 月"OIST-KEIO Showcase Talk Series"参加者）を含める、2）人文社会科学分野のものを含める、3）ジェンダーバランスの3 点を考慮し、KGRI にて選抜した学内研究者18 名が執筆した論文を、同じ研究領域の著名な海外の研究者各1,000 名宛にメール配信しました。
これにより、国際的研究協力の機会が増えることが期待されます。

国際的研究連携の推進

OIST-KEIO Showcase Talk Series
沖縄科学技術大学（OIST）との連携は医学部との交流が 2020 年より始まり、2022 年 8 月には全学的な連携協定として「科学・学術協力に関する基本協定」を締結しました。現在は医学部に加えて、全学を対象とした組織的な交流を継続的に実施しており、2023年11月には2日間に渡るShowcase TalkをOISTにて共催し、本学からは塾長、研究担当常任理事をはじめとする総勢23名の教職員が現地で参加しました。
OISTは科学技術を専門とする大学院大学・研究機関ですが、医学部および人文社会学を有する本学との

連携により、新しい連携領域を広げることを目指しています。本学においては、OISTの世界レベルの先端研究との連携に加えて、英語が完全な公用語となっているOISTとの連携により、研究連携および人材の国際化推進を図ることを期待しています。

"Science Meets Society: Exploring the Nexus of Planetary Well-being for a Sustainable Future."
【主催】慶應義塾大学と沖縄科学技術大学院大学（OIST）の共催
【日時】2023年11月16日（木）～ 11月17日（金）（全日）
【会場】OIST (Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University)/Zoom Hybrid開催

日）https://www.kgri.keio.ac.jp/news-event/154770.html
英）https://www.kgri.keio.ac.jp/en/news-event/154770.html

Keio-OIST　Research Showcase　Event　参加者
伊藤　公平　慶應義塾長
天谷　雅行　常任理事
君嶋　祐子　法学部教授/KGRI所長
金井　隆典　医学部長
斎木　敏治　理工学研究科委員長
廣瀬　陽子　総合政策学部教授
稲熊　律夫　KGRI特任教授
菅澤　翔之　助経済学部准教授：ベイズ統計,時空間統計,状態空間モデリング,数理統計,ロバスト統計,医療統計
村松　眞由　理工学部准教授：固体力学、マルチフィジックスシミュレーション
新　幸二　医学部准教授：微生物学・免疫学
山本 詠士　理工学部専任講師：生体膜や蛋白質、コロイド、ソフトマター、ナノ・マイクロ熱物質輸送
八木　洋　医学部講師：消化器外科（肝胆膵外科、移植外科、再生医療研究）
筋野 智久　医学部講師：消化器外科
楠本　大　医学部助教：循環器内科（シングルセル解析、血管生物学 、再生医療 、幹細胞分子生物学）
高杉　聡　医学部大学院3年：生理学
駒村　圭吾　法学部教授：憲法、言論法
小久保　智淳　法学部後期博士課程：認知過程の自由――憲法学と神経科学
大学院生3名

参加者による集合写真（提供：OIST/[Micheal Cooper] (CC BY 4.0)）

以上